

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 4 月 26 日(2023.4.26)

【公開番号】特開 2022-185614(P2022-185614A)  
【公開日】令和 4 年 12 月 15 日(2022.12.15)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-231  
【出願番号】特願 2021-93340(P2021-93340)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 4 月 18 日(2023.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
通常状態と、前記有利状態とは異なる状態であって前記通常状態よりも遊技者にとって  
有利な特別状態と、に制御可能な状態制御手段と、  
表示手段と、を備え、  
前記表示手段は、装飾識別情報の可変表示を表示可能であり、

可変表示の表示結果が特定表示結果となったときに前記有利状態に制御可能であり、  
前記特別状態に制御されているときに、表示結果が前記特定表示結果とは異なる所定表  
示結果となる可変表示であって、可変表示期間が、可変表示の終了から次の可変表示が開  
始されるまでの確定期間よりも短い特殊可変表示を実行可能であり、

30

前記特別状態に制御されているときに実行される表示結果が前記所定表示結果となる可  
変表示のうち、前記特殊可変表示が実行される割合は、前記特殊可変表示とは異なる可  
変表示が実行される割合よりも高く、

前記特殊可変表示が連続して実行される場合、先の前記特殊可変表示に使用された装飾  
識別情報と、当該特殊可変表示の表示結果となる装飾識別情報とを用いて当該特殊可変表  
示を実行することが可能である、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、  
通常状態と、前記有利状態とは異なる状態であって前記通常状態よりも遊技者にとって  
有利な特別状態と、に制御可能な状態制御手段と、  
表示手段と、を備え、  
前記表示手段は、装飾識別情報の可変表示を表示可能であり、

可変表示の表示結果が特定表示結果となったときに前記有利状態に制御可能であり、

50

前記特別状態に制御されているときに、表示結果が前記特定表示結果とは異なる所定表示結果となる可変表示であって、可変表示期間が、可変表示の終了から次の可変表示が開始されるまでの確定期間よりも短い特殊可変表示を実行可能であり、

前記特別状態に制御されているときに実行される表示結果が前記所定表示結果となる可変表示のうち、前記特殊可変表示が実行される割合は、前記特殊可変表示とは異なる可変表示が実行される割合よりも高く、

前記特殊可変表示が連続して実行される場合、先の前記特殊可変表示に使用された装飾識別情報と、当該特殊可変表示の表示結果となる装飾識別情報とを用いて当該特殊可変表示を実行することが可能である

ことを特徴とする遊技機。

10

20

30

40

50